

農地を面的集積して耕作放棄地を解消

出雲市 美談営農組合



1. 取り組みの概要

島根県東部に位置する出雲平野は、山陰地方最大級の沖積平野で広大な穀倉地帯です。出雲市美談町の美談営農組合は、平成19年度に63ヘクタールの農地を集積され、効率的な農作業による経営の安定化と農地の有効利用に取り組まれています。

「耕作放棄地があったんじゃ、一連の作業が中断してやれんよ」と話される、美談営農組合代表の三代さん。出雲市農林政策課と一緒に、三代さんなど集落の皆さんに、取り組みをお話いただきました。



美談地区（写真左上）。中央は斐伊川。

2. 農地を面的に集積し、耕作放棄地も復旧

農地の面的集積

—農地を面的に集積され、併せて耕作放棄地を復旧された経緯はどのようなものでしょうか。

集落 営農組合を立ち上げて、地域の農地の100%近くを集積した。営農組合全体では63haを集積したが、うち8haが荒れている。

農地の権利を集積しても、その中に耕作放棄地が点々と残っていると、水稻をするにしても転作をするにしても、団地化やスムーズに作業を進めていく上で邪魔になって、うまくいきませんよね。このように、面的にまとまりがあるように集積しても、耕作放棄地をどうするかが課題になる。



美談営農組合の皆さん

—他に、何か課題はありますか。

集落 昭和30年代に土地改良したので、個々の農地が狭く、用排水の機能が低下しているなど、土地基盤の条件が悪いことが課題だ。

ほとんどの田が湿田なので、転作に適した作物がないし、水稻を作付けしても、水はけが悪く水田が柔らかいため、稲刈りでは大型機械が入らない。地域全体が、そういう地帯だ。

排水条件も悪い。排水は一級河川である湯谷川に、湯谷川は宍道湖につながっており、宍道湖の水位が上がれば川の水位も上がる。水位が上がれば、当然、排水が悪くなる。そういうこともあるので、今後、基盤整備を予定しているが、それを待ってられないので、耕作放棄地を復旧しながら農地を面的に集積し、有効活用しながら耕作している。

耕作放棄地解消の目的と効果

—地区では、どのように耕作放棄地の復旧に取り組んでいらっしゃいますか。

集落 耕作放棄されていた水田は、営農組合でも個人でもかなり復旧しましたよ。大変な労力だし、賃金をもらえるものでもなく、ボランティアですよ。

草が生えたところは全部刈って、自分たちの農地から出た草なので野焼きして。その後の荒起こしも代掻きも普通の田の倍の手間です。更に、草が生えないように水を張って、除草剤もまいて、それでも生えてきた草を手で取るなど、かなり手間がかかるので、皆、なかなか取り組もうとしない。

荒れているといっても、ある程度の草刈をしていたところは農地に戻る。草刈りもせず、荒れ放題のところは、なかなか農地に戻らない。草を刈って根っこを掘り起こして、見た目は農地に戻っても土の中に根っこが残っている。1年や2年では、きちんと管理している田畑のような草の状態にはならないよ。どの程度の草が生えてくるかは翌年の春にならないと分からないが、普通の農地以上に除草剤をまいたり、草刈りをしないとイケない。

—今回、県が委託をして耕作放棄地の復旧に取り組んでいただきました。

集落 復旧した耕作放棄地は、1年に1回くらいしか草刈をしておらず、背丈以上の葎も密生するひどい状態だった。野山だ。復旧費用も相当かかった。

復旧に取り組む前に、持ち主がシルバー人材センターに草刈をお願いしたが、あまりにも大変なので人材センターが投げ出したらしいね。草を刈るのも大変だが、刈った草をそのままにしたのでは農地に戻せないで、片付けるようお願いしたら、もう出来ないよ。



背丈以上の葎が密生した耕作放棄地

—そのような大変な状態のところを、どのように復旧されましたか。

集落 まず、除草剤をまくことにした。ただ、家の近くにある耕作放棄地なので風が穏やかな日を待っていたら、どんどん草が伸びて行ってね。風が穏やかな日に除草剤をまいたら、だいたい草が枯れた。枯れた草の上に土壌改良用に石灰をまいて、それからモアで草を裁断した。草を刈っただけでは駄目だ。親指以上の太さの根っこがぎっしりと地表に張っていたので、バックホーで掘り起こして、その後にトラクターでかき混ぜ、刈った草と一緒に鋤き込んだ。最初からトラクターで掘り起こそうとしたらトラクターが壊れてしまう。耕作放棄地復旧のために、農地を守るためのトラクターを壊しては本末転倒だ。



—地区には、そのような耕作放棄地が多くあるのでしょうか。

集落 営農組合にある8haの耕作放棄地の全てがこれほどひどい状態ではないが、それでも一度には復旧出来ないから、少しずつでも減らしていこうとしている。

—山間部では、耕作放棄地があるとイノシシの巣になるなどの害があるそうですが、平野部ではどのような害がありますか。

集落 イノシシの害はないが、水稲にしても麦にしても、草が繁茂しているところは虫の巣になってしまう。草むらで病原体も越冬するし、良くないですよ。

耕作放棄地があると、いろいろな農作業の流れを妨げる。作業の問題だけでなく水路もね、コンクリート製なら良いけど、土水路だと壊れて、用排水が途絶えてしまう。

—復旧しても、何を作付けするかという悩みを多くの皆さんがお持ちと聞いています。

集落 条件が悪いところが休耕田や耕作放棄田になっており、この地区では、そのような場所には葎がたくさん生えてきてね。水田にして水を張り、除草剤を正しくまけば、葎が生えなくなるので水稲が一番いいが、生産調整があるから困っている。折角復旧しても水稲以外の作物を作付けたら、葎がまた生えてきて、作物を負かしてしまう。

3. 補助事業の活用について

● 補助事業を活用したくても

—皆さんのように農地を面的に集積して簡単な基盤整備をされる場合、補助を受けることも出来ますが、ご存知でしたか。

集落 知らなかった。聞いたことがなかった。

先日、視察に行ったが、そこでは我々があまり活用していない補助事業などを利用して、まだまだ知らないことがあるなと思いました。補助金がなければ営農組合の経営はやっていけないのですが、必要な情報が伝わってこないこともあります。

—どのように情報が伝わったら良いでしょうか。

集落 営農組合を立ち上げるときに、出雲市農業支援センターのお世話になった。あそこで、いろいろな情報や補助金などの情報をもらっている。

出雲市 ただ、事業メニューが多すぎますからね。その中で、地元のニーズに合ったものが何なのか考えなくてはいけない。各事業の内容を地元で提示しても、地元で消化するのは難しいですよ。ですから、地元の方からどうありたいかという要望を受けて、それに見合う事業が何かという提示をしないと。

集落 国の事業はいっぱいありますが、もうちょっと簡単にならんだろうか。難しく、難しく、難しくしてあるからねえ。もうちょっと単純に、誰でも分かるものならんだろうか。重複したものも随分あるしねえ。

—レストランで、名前をただだけでは分からないメニューがたくさん並んでいて、何を注文しようか困るという感じでしょうか。

集落 そういう感じだ。ちょっと分かりかけた補助事業があって、よくよく調べてみると、これじゃうちを対象にならないということもある。そのうち、まあ、事業を利用するのはいいかとなってしまう。

ある営農組合は、補助事業のリストを作って「これは聞いた」、「これは新しい」などと点検する専門のスタッフがいるらしいね。そうしないと、補助事業は毎年のように新しくなったり内容が変わっていくので、ついていけませんよと。